

製品名: OLFM2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86567**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:51 kDa; Observed MW:49 kDa

抗原情報

遺伝子名	OLFM2
別名	NOE2; OlfC; NOELIN2; NOELIN2_V1
遺伝子ID	93145
SwissProt ID	O95897
免疫原	ヒトOLFM2の合成ペプチド

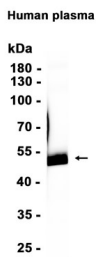
背景

形質転換成長因子ベータ（TGF-beta）誘導性平滑筋分化に関与する。TGF-betaはOLFM2の発現と核への移行を誘導し、そこで

OLFM2 は SRF に結合して転写抑制因子 HEY2/HERP1 からの解離を引き起こし、SRF の標的遺伝子への結合を促進する (PubMed:25298399)。AMPA 複合体組織化において役割を果たす (類似性による)。血管平滑筋細胞 (SMC) 表現型の切り替えを制御する因子であり、RUNX2 を促進し、MYOCD の SRF への結合を阻害することによって作用する。SMC 表現型の切り替えは、病理学的刺激に反応して血管 SMC が静止期の収縮表現型と増殖期の合成表現型の間を遷移するプロセスである。SMC 表現型の可塑性は血管の発達とリモデリングに不可欠である (類似性による)。

研究分野

画像データ



OLFM2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト血漿組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。